

社会科学学習指導案

指導者 石原圭二

1 日時 令和元年10月8日(火) 6校時

2 学級 1年3組 男子17名 女子15名 合計32名 西校舎2階1年3組教室

3 主題 単元名 世界の諸地域 2節 ヨーロッパ州
中心学習材 「進むヨーロッパ統合」(東京書籍「地理」)

4 主題について

第3章の世界の諸地域は、第1節から第6節で構成されている。この節を通して世界の多様な地域とそこに住む人々の生活を主な学習対象とし、世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解させる学習を通して、世界の地理的認識を養うことをねらいとしている。特に本時で取り上げるヨーロッパの学習においては、EUの発展と地域間格差という主題で、EU加盟国では、政治・経済的統合が人々の生活にどのような影響を与えているかという問いから、ヨーロッパにおいて、EU加盟国の人々が日常生活で自由に域内の国境を越えて買い物や仕事をしていること、多様な産業が地域で展開している様子、人々の移動、EU内の交通機関による結びつきなどを追及することから、EUを構成する国の相互関係や域内の地域間格差の実態を把握させ、ヨーロッパの地域的特色の理解につなげていきたい。

生徒は、これまでにアジア州の学習を通して、人口急増と多様な民族・文化という主題で、なぜ、アジアでは、人口が急増し、民族・文化が多様なのかという問いから、資料を読み取り話し合いを進める中で、意見を出し合って表現する活動を行ってきた。その結果、小グループでの交流を通してグループ内での役割分担が少しずつできるようになり、自分の意見を発表する生徒も増えてきている。

そこで、適切な資料を活用し、生徒が興味関心を持って授業に参加できるように工夫をし、グループ活動や全体での交流場面を通して、生徒が意欲的に授業に参加できるようにしていきたい。そのために取り上げる主題や州に関わる写真や物語、小説などの活用にも配慮し学習内容や学習過程を設計し、生徒の生活経験と結びついた情報を獲得させるようにしていきたい。

5 本時の達成目標

ヨーロッパ州の国々が国境を越えた統合を進めてきた理由について、他国と比較した統計資料などから考え、グループで話し合い発表し合う中から、自分の考えを持ち記述することができる。

6 評価場面での生徒の記述例

【思考・判断・表現】

おおむね満足 B	十分満足 A
ヨーロッパの国々が統合すると、アメリカのような大国と経済で対抗できる。また、国境を越えた航空機の生産が行われている。	ヨーロッパの国々が統合すると、アメリカのような大国と経済で対抗できる。また、国境を越えた航空機の生産が行われている。共通通貨で買い物ができたり、交通網の整備によって移動も楽になったりしている。

7 振り返りの場面での生徒の記述例

資料の読み取りで、ヨーロッパが統合するとアメリカのような大国と経済的に対抗できることがわかった。また、国境を越えて航空機の共同生産が行われている。更に、共通通貨で買い物をしたり、交通網の整備で移動も楽になったこともわかった。

8 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点 評価の観点・方法 ◆教材・教具等
導入 5分	1 単元のねらいを確認する。 2 ドイツとオランダの国境 (資料2) とEU加盟国の拡大 (資料4) から、本時のキーワードをとらえる。 ・検問所がない。自由に行ける。 ・加盟国が西から東に拡大している 3 学習課題を把握する。	1 資料などから読み取ったことを自分なりにまとめ、表現することを確認する。 2 写真等資料の提示。 ◆掲示用キーワード 【主体的】 自ら意欲的に考え、発言を通して課題意識をもつ。
展開 40分	<p style="text-align: center;">ヨーロッパの統合は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。</p> <p>第1ステップ</p> 4 個人で学習課題を追究する。課題に対する答えを考える (個人)。 <p>第2ステップ</p> 5 班で交流し、その後全体で発表し合い、統合を進めた内容を確認する (全体)。 ・資料3から、なぜ、ヨーロッパは統合する必要があるのかをとらえる。 まとまることで大国に対抗するため。 ・資料5からわかることはなにか。 航空機の共同生産。 <p>ラストステップ</p> 6 交流したことを踏まえて、課題に対する自分の考えをまとめる (個人)。 7 本時のまとめをする。	4 グループ内で発表ができるよう、自由にメモを取らせる。 【対話】 資料3・5を中心に、統合を進めた理由について意見を出し合い、発表できるようにする。 5 各資料の読み取りのポイントを示す。 ◆学習シート ・資料を確認する中から、話し合いがスムーズにできるようにさせる。 ◆ホワイトボード 水性ペン ◆語句カード 6 話し合いによって深まった自分の解釈を新しい観点や認識を整理しながら文章にまとめさせる。 ◆学習シート 6 【思考・判断・表現】 B: 課題に対する自分の考えを、自分の言葉で文章にまとめることができる。(学習シート) A: 課題に対する自分の考えを、根拠を明らかにしながら自分の言葉で文章にまとめている。 C: 課題に対する自分の立場を明らかにさせる。もっともだと思ったり心に残ったりしている他者の考えを参考にさせる。 7 課題に対するまとめを行い、数名に発表させる。
終末 5分	8 学習活動を振り返る。	【リフレクション】 本時の学習で気付いたことや他の人の意見から参考になったこと、その他新たに浮かんだ疑問点や今後生かせそうなことを振り返らせる。 ◆学習シート

9 指導と評価の計画

2 年 社会	単元名 世界の諸地域 ヨーロッパ州 (中心学習材名「進むヨーロッパ統合」)	総時間 5時間扱い
学習指導要領の指導事項		単元の目標
<p>(知識・理解) ヨーロッパ州について、そこに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付ける。</p> <p>(関心・意欲・態度) ヨーロッパ州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題をもとに、世界の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追及し、とらえようとしている。</p> <p>(思考・判断・表現) ヨーロッパ州の地域的特色を、そこに暮らす人々生活の様子を的確に把握できる主題をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p>		<p>ヨーロッパ州の地域的特色を理解するために、「国家間の統合による変化」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追及させる。</p> <p>ヨーロッパ州の学習テーマを追求していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察し、その成果をさまざまな手法で表現させる。</p> <p>ヨーロッパ州に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較、関連づけなどの地理的技能を育ませる。</p> <p>ヨーロッパ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。</p>
時	主な学習活動	おおむね満足 (B)
1	ヨーロッパ州をながめて 温暖な気候と広い平野 多くの国々 地域により異なる農業 近代工業の発展	<p>知・理 小国が多いこと。地域により、異なる農業が盛んなこと。世界経済における地位が低下してきたことなどを概観し、理解している。</p> <p>関 ヨーロッパを概観する中で、国家間の統合に関心を持ち、その過程を意欲的に追及している。</p>
2	ヨーロッパ文化の共通性 表現が似ている挨拶 キリスト教の信仰 多様な民族と共通の文化	<p>知・理 ヨーロッパ州の国々の文化について、似ている点を二つ挙げ、統合を進めることができた理由について理解している。</p> <p>関 表現の仕方が似ているあいさつや、キリスト教の信仰など、ヨーロッパにおける共通の文化に対する関心をもっている。</p>
3 (本時)	進むヨーロッパ統合 国境をこえた統合 工業の変化 統合の進展と人々の生活	<p>思 EU統合の内容について、工業・人々の移動・交通の三つの視点から説明している。</p> <p>技 ヨーロッパ州が統合してきたことを、交通・通勤・買い物・通貨などのさまざまな資料を関連づけることで読み取っている。</p>
4	ヨーロッパの課題とロシア連邦 EUのかかえる課題 EUとつながるロシア連邦	<p>思 EU諸国とロシア連邦の結びつきについて、写真や主題図を用いて説明している。</p> <p>技 EU加盟国の一人あたりの国民総所得や、ロシア連邦とその周辺の鉱工業の主題図から、それぞれの地域の国民生活の様子を読み取っている。</p>

<p>5</p>	<p>ヨーロッパ州の学習を振り返る</p> <p>深めよう</p> <p>環境に配慮されたヨーロッパ社会</p> <p>ヨーロッパの環境問題</p> <p>EUの取り組み</p> <p>環境に配慮した観光</p>	<p>知・理 地図や写真，主題図などの資料を関連づけて，ヨーロッパ州の地理的事象を理解している。</p> <p>思 EU統合が進んだ背景や現状，課題について，経済や政治の視点から論述したり，意見交換したりしている。</p> <p>関 ヨーロッパの環境に配慮した消費生活やエネルギー利用，観光に関心をもち，それを積極的に調べ，自分の住んでいる地域の参考にしようとしている。</p> <p>思 ヨーロッパで国境を越えた環境問題の取り組みについて，国々の位置関係（公害の国際問題化）やEUの役割などから考えている。</p>
----------	--	--